

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月26日

上場会社名 SMK株式会社

上場取引所 東

コード番号 6798 URL <http://www.smk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山田 一

TEL 03-3785-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	32,280	27.6	1,643	17.7	1,282	59.5	940	45.0
21年3月期第2四半期	44,600		1,996		3,165		1,710	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.72	
21年3月期第2四半期	22.76	22.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	56,930	29,703	52.0	400.75
21年3月期	58,168	29,079	49.9	392.15

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 29,617百万円 21年3月期 29,010百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		6.00		3.00	9.00
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	7.9	3,400		3,300	220.5	2,200		29.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 79,000,000株 21年3月期 79,000,000株

期末自己株式数 22年3月期第2四半期 5,095,864株 21年3月期 5,021,837株

期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 73,948,534株 21年3月期第2四半期 75,161,631株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年4月27日に公表いたしました連結業績予想は、通期を本資料において修正しております。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成21年10月26日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 平成22年3月期の期末配当予想を、本資料において修正しております。詳細は、本日(平成21年10月26日)公表の「平成22年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであって、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。ご了承ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、前年後半からの世界同時不況からは中国、インドなどが立ち直りつつあるものの、米国、欧州などの地域では本格回復には至っておらず、全体としては底は脱しつつありますが、力強い回復基調となるには相当程度の時間が必要とみられます。

日本経済も、生産調整が進捗し、企業収益の大幅な落ち込みに歯止めがかかる兆しはありますが、米国経済の回復の遅れによるドル安・円高傾向、さらには景気の下振れ懸念など先行きへの不透明感が強く、今後も楽観を許さない環境にあると思われまます。

当電子部品業界におきましては、薄型テレビなどのデジタル家電が回復の兆しを見せているほか、自動車向け部品も一時の低迷から底を打ったと思われまますが、携帯電話についてはなお厳しい状況が続いており、全体としては緩やかな回復基調が続く見通しであります。

このような状況のもとにおきまして、当社グループは積極的な新製品の投入と価格競争力の向上、営業力の強化などに努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は322億8千万円（前年同期比27.6%減）となりました。

各市場別の状況は次のとおりです。

映像・音響部品市場につきましては、薄型テレビの国内需要が好調に推移したことを受け、関連部品の売上が増加いたしました。海外においては、セットップボックス、オーディオ機器向け売上が不調であったため、全体では前年同期比20.4%減の104億2千4百万円となりました。

電装部品市場につきましては、昨年来の自動車不況のあおりをうけて、前年の水準を下回った結果、前年同期比17.9%減の31億6千万円となりました。

通信部品市場につきましては、携帯電話の需要減少に伴う在庫調整の影響から、海外得意先向け売上が伸び悩んだため、前年同期比32.5%減の128億6千万円となりました。

情報事務機部品市場につきましては、ネットワーク関連機器や電子辞書向け部品は堅調に推移しましたが、パソコン、プロジェクター向け売上が減少したため、前年同期比21.8%減の37億1千8百万円となりました。

電子玩具・家電部品市場につきましては、TVゲーム、エアコン向け部品が大きく前年を下回ったため、前年同期比42.1%減の16億9千1百万円となりました。

収益につきましては、売上高は、前年同期比7割程度の回復になっておりますが、営業利益は、原価低減、内製化の推進や新製品の投入により原価率の改善に注力、また、徹底した固定費の削減等、当社グループをあげて業績の回復に取り組んできたことにより、8割まで回復いたしました。経常利益、四半期純利益は、円高の影響を大きく受けております。

以上の結果、当第2四半期の連結経営成績につきましては、売上高は322億8千万円（前年同期比27.6%減）、営業利益は16億4千3百万円（同17.7%減）、経常利益は12億8千2百万円（同59.5%減）、四半期純利益は9億4千万円（同45.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末に比べてほぼ横ばいの、343億8百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が15億5千万円増加し、たな卸資産が6億8百万円、未収入金が8億6千9百万円それぞれ減少したことなどによりまます。固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、226億2千2百万円となりました。これは、長期貸付金が6億7千8百万円、繰延税金資産が4億4千7百万円それぞれ減少したことなどによりまます。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、569億3千万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.8%減少し、201億2百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が11億4千1百万円、未払金が7億8千9百万円それぞれ増加し、短期借入金38億2千3百万円減少したことなどによりまます。固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、71億2千4百万円となりました。これは、長期借入金9千7百万円増加し、役員退職慰労引当金が2億5千8百万円減少したことなどによりまます。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、272億2千7百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、297億3百万円となりました。これは、利益剰余金が8億9千7百万円、その他有価証券評価差額金が3億3千8百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が5億9千5百万円減少したことなどによりまます。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期の業績を勘案し、平成21年4月27日に公表いたしました通期の連結・個別業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成21年10月26日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4 . その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社において、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、重要性の乏しい連結子会社において、税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益に、前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 【 四半期連結財務諸表 】

(1) 【 四半期連結貸借対照表 】

(単位 : 百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,013	9,081
受取手形及び売掛金	16,415	14,864
商品及び製品	2,741	3,254
仕掛品	656	527
原材料及び貯蔵品	2,228	2,453
その他	3,325	4,198
貸倒引当金	72	77
流動資産合計	34,308	34,302
固定資産		
有形固定資産	17,522	18,021
無形固定資産		
のれん	449	573
その他	186	207
無形固定資産合計	635	781
投資その他の資産		
その他	4,727	5,321
貸倒引当金	262	258
投資その他の資産合計	4,464	5,063
固定資産合計	22,622	23,865
資産合計	56,930	58,168

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,830	2,688
短期借入金	6,704	10,527
未払金	7,291	6,501
未払法人税等	77	48
賞与引当金	723	592
その他	1,476	1,451
流動負債合計	20,102	21,810
固定負債		
長期借入金	6,463	6,366
退職給付引当金	13	12
役員退職慰労引当金	132	390
その他	514	508
固定負債合計	7,124	7,278
負債合計	27,227	29,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,353	12,347
利益剰余金	14,858	13,961
自己株式	2,913	2,873
株主資本合計	32,295	31,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	309	29
為替換算調整勘定	2,987	2,392
評価・換算差額等合計	2,678	2,421
新株予約権	86	55
少数株主持分	-	13
純資産合計	29,703	29,079
負債純資産合計	56,930	58,168

(2)【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	44,600	32,280
売上原価	37,679	26,771
売上総利益	6,920	5,508
販売費及び一般管理費	4,924	3,864
営業利益	1,996	1,643
営業外収益		
受取利息	41	13
受取配当金	62	24
不動産賃貸料	445	478
為替差益	859	-
その他	149	193
営業外収益合計	1,558	710
営業外費用		
支払利息	158	120
不動産賃貸原価	140	152
為替差損	-	745
その他	91	53
営業外費用合計	389	1,072
経常利益	3,165	1,282
特別利益		
固定資産売却益	36	59
償却債権取立益	-	46
その他	9	3
特別利益合計	46	109
特別損失		
固定資産除却損	28	106
投資有価証券評価損	157	0
その他	0	30
特別損失合計	186	137
税金等調整前四半期純利益	3,025	1,253
法人税、住民税及び事業税	1,107	250
法人税等調整額	206	61
法人税等合計	1,314	312
少数株主利益	0	-
四半期純利益	1,710	940

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,025	1,253
減価償却費	2,579	1,859
のれん償却額	90	81
役員賞与引当金の増減額 (は減少)	83	-
退職給付引当金の増減額 (は減少)	1	0
前払年金費用の増減額 (は増加)	424	102
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	29	258
受取利息及び受取配当金	104	38
支払利息	158	120
固定資産除却損	28	106
売上債権の増減額 (は増加)	1,943	2,248
たな卸資産の増減額 (は増加)	261	365
仕入債務の増減額 (は減少)	100	2,097
未払金の増減額 (は減少)	-	1,435
その他	3	121
小計	3,456	4,999
利息及び配当金の受取額	111	39
利息の支払額	168	124
法人税等の支払額又は還付額 (は支払)	129	579
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,270	5,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20	-
有形固定資産の取得による支出	3,180	1,389
有形固定資産の売却による収入	51	160
投資有価証券の売却による収入	505	20
貸付けによる支出	28	39
貸付金の回収による収入	26	83
その他	108	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,714	1,160
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (は減少)	1,428	3,699
長期借入れによる収入	1,500	-
長期借入金の返済による支出	1,738	228
自己株式の取得による支出	399	18
自己株式の売却による収入	12	2
配当金の支払額	519	247
財務活動によるキャッシュ・フロー	284	4,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	257
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	976	115
現金及び現金同等物の期首残高	7,073	9,072
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	134	47
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,185	9,004

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 2 四半期連結累計期間及び当第 2 四半期連結累計期間において、電子部品事業以外の事業を行っていないため、単一セグメントとなっております。このため事業の種類別セグメント情報は作成していません。

【所在地別セグメント情報】

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,971	15,882	10,096	649	44,600		44,600
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,815	14,220	88	102	32,226	(32,226)	
計	35,787	30,103	10,185	751	76,827	(32,226)	44,600
営業利益又は営業損失()	1,162	249	1,117	66	1,963	(32)	1,996

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、台湾、韓国、フィリピン

(2) 北米.....アメリカ、メキシコ

(3) その他の地域.....イギリス、ベルギー、ハンガリー

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,966	9,936	6,914	463	32,280		32,280
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,744	11,458	64	48	23,316	(23,316)	
計	26,711	21,394	6,979	511	55,596	(23,316)	32,280
営業利益又は営業損失()	326	1,004	479	107	1,704	(60)	1,643

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、台湾、韓国、フィリピン

(2) 北米.....アメリカ、メキシコ

(3) その他の地域.....イギリス、ベルギー、ハンガリー

【海外売上高】

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	19,792	10,590	2,066	449	32,898
連結売上高(百万円)					44,600
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	44.4	23.8	4.6	1.0	73.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、台湾、韓国他

(2) 北米.....アメリカ他

(3) 欧州.....イギリス、ベルギー他

(4) その他の地域.....ブラジル他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	13,715	7,097	1,147	201	22,160
連結売上高(百万円)					32,280
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	42.5	22.0	3.6	0.6	68.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、台湾、韓国他

(2) 北米.....アメリカ他

(3) 欧州.....イギリス、ベルギー他

(4) その他の地域.....ブラジル他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

受注実績

(単位：百万円、%)

市場別	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
映像・音響部品	13,557	30.5	11,329	34.0	2,227	16.4
電装部品	3,841	8.6	3,851	11.5	9	0.3
通信部品	19,069	42.8	12,155	36.4	6,914	36.3
情報事務機部品	4,562	10.3	3,838	11.5	724	15.9
電子玩具・家電部品	2,624	5.9	1,721	5.2	902	34.4
その他部品	855	1.9	458	1.4	396	46.4
合計	44,511	100.0	33,355	100.0	11,155	25.1

市場別	(参考)前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	金額	構成比
映像・音響部品	21,236	30.1
電装部品	5,454	7.7
通信部品	30,517	43.3
情報事務機部品	7,292	10.3
電子玩具・家電部品	4,308	6.1
その他部品	1,729	2.5
合計	70,538	100.0

販売実績

(単位：百万円、%)

市場別	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
映像・音響部品	13,095	29.4	10,424	32.3	2,670	20.4
電装部品	3,856	8.6	3,166	9.8	690	17.9
通信部品	19,044	42.7	12,860	39.9	6,183	32.5
情報事務機部品	4,756	10.7	3,718	11.5	1,037	21.8
電子玩具・家電部品	2,919	6.5	1,691	5.2	1,228	42.1
その他部品	928	2.1	418	1.3	509	54.9
合計	44,600	100.0	32,280	100.0	12,320	27.6

市場別	(参考)前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	金額	構成比
映像・音響部品	22,044	30.3
電装部品	6,077	8.4
通信部品	30,207	41.5
情報事務機部品	7,681	10.6
電子玩具・家電部品	4,834	6.6
その他部品	1,898	2.6
合計	72,742	100.0